

『日本文学』への投稿について

▽日本文学協会の会員であれば、どなたでも機関誌『日本文学』へ投稿できます。但し、未発表の論考に限ります。また、二重投稿は固く禁じます。

▽内容 A 文学研究に関する論考

B 国語教育研究（実践報告を含む）に関する論考

C その他

▽書式・分量等

・原稿は原則として縦書きとし、パソコンでの作成の場合はできるかぎり一行三〇字×二五行×二段・A4版のページ設定でお書きください。手書きの場合は四〇〇字詰原稿用紙をご使用ください。

・A・Bについては、図版・表・注を含めて、一行三〇字×二五行×二段のページ設定で一〇頁程度（手書きの場合は四〇〇字詰原稿用紙三五枚程度）を基準とします。基準を大幅に逸脱した原稿は、審査をお断りする場合があります。

▽投稿に際しては、パソコンで作成した原稿の場合は以下の諸点に留意の上、原稿及び論文要旨の電子データを電子メール（以下「メール」）に添付して事務局のメールアドレスまでご送付ください。

(1)お送りいただくメール及び添付ファイルについて

・メールの件名（タイトル）は、特集号への投稿の場合は「投稿」○月特集号、自由論文の場合は「投稿」自由論文、その他の場合は「投稿」その他」とし、メール本文にも投稿原稿の種類を明記してください。また、メール本文に住

所・氏名・電話番号等の連絡先を明記してください。

・原稿——原稿の電子データのファイルはマイクロソフトのWord、ジャストシステムの一太郎などの文書作成ソフトを使用して作成したものとし、あわせてPDF形式のファイル

を添えてください。

・要旨——二〇〇字程度の要旨を作成し、論文と同様、Word・一太郎などのファイルとPDF形式のファイルを同じメールに添付してご送付ください。要旨は英文による紹介を行う必要上、読みにくい漢字（人名・作品名など）にはルビを振ってください。

(2)その他の注意

・審査の都合上、原稿受領後の差し替えは不可とします。受領確認の連絡が届かない場合は事務局までお問合せください。

・本誌において一度不採用となった原稿を改稿しての再投稿の際はメール本文にその旨お書き添えください。

なお、手書き原稿の場合は、送り状に投稿原稿の種類等を明記の上、原本とコピー一部および二〇〇字程度の要旨一部を事務局までご郵送ください。送り状の記載事項や要旨の書き方はパソコンで作成した原稿の投稿の場合に準じます。

▽投稿原稿の採否については、決定次第、結果を執筆者にご連絡します。

▽投稿原稿の採否は、運営委員会に委嘱された複数の者が読み、報告を受けて運営委員会が決定します。また、審査の結果は、次のように通知いたします。

1、採用

2、条件付き採用（加筆、訂正を求める）

3、不採用

▽掲載原稿について、本誌五部および抜刷二〇部（論文の場合）を贈呈します。

▽校正段階での内容訂正はご遠慮ください。著者による校正は初校の一回のみとします。

▽掲載された論考は、刊行後五年をめどに日本文学協会、及びその協力機関によって電子化、公開します。